



# 志中の風

## 『自主』『友愛』『奉仕』

## 校訓を育み、「志」をもつ学期に

校長 德重 正宏

残暑の中にも少しずつ秋の気配が感じられ、幾分朝夕には涼しさもあり、季節の移ろいを肌で感じる季節になりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、奉仕作業への御協力有難うございました。

さて、長い夏休みが終わり、令和7年度の第2学期が始まりました。

生徒の皆さんがあなたの姿で登校し、友達との再会を喜び合う様子に、学校にも活気が戻ってまいりました。教職員一同、生徒の皆さんの笑顔に力をもらひながら、新たな気持ちで教育活動に取り組んでいます。

第2学期は、体育大会や文化祭、2年生は修学旅行など、学校生活の中でも特に行事が多く、生徒たちがさまざまな経験を通して成長する大切な学期です。これらの活動では、一人ひとりが自分の役割を果たし、仲間と協力しながら目標に向かって努力することが求められます。準備段階から本番に至るまで、計画性や責任感、コミュニケーション力など、日常の授業では得がたい力を育む貴重な機会となります。

このような経験を通して、生徒の皆さんには校訓である「自主性、友愛、奉仕」の大切さを学んでほしいと願っています。自から仲間と協力し、見返りを求めない気持ちで事にあたり、一回り成長することを願っています。

そしてもう一つは「志」を立て、確認することです。志とは、単なる夢や希望ではなく、自分がどのように生きたいか、何を成し遂げたいかという人生の指針です。志を持つことで、日々の学びや行動に意味が生まれ、困難に直面したときにも前に進む力となります。

1年生の皆さんには、まず学校生活に慣れながら、自分の興味や関心を広げることを意識してほしいと思いま



早朝からの体育大会への多くの御出席、御声援大変有難うございました。

## 始業式【9／1（月）】

久しぶりに元気な姿が、中学校に戻ってきました。夏休み明けで、緩んだ生活のリズムもあったことでしょう。各教室で行われたりモートの始業式には夏の疲れを見せる生徒もいましたが、自分の気持ちに活を入れ引き締まった表情をした生徒が大半でした。各学年及び生徒会の代表が、それぞれの立場で抱負を述べていました。1年生「学級をまとめていきたい」、2年生「行事を協力して主体的に取り組みたい」、3年生「素晴らしい思い出になる行事したい」、生徒会「協力して行事を成功させたい」と。校長先生からは、「自主性が試される2学期です」「自分の未来は自分で決める」「様々な行事で主体的な姿を」と呼びかけていました。





第79回体育大会【9/14(日)】

Passion～志高く未来へ前進～

生徒会長、保体部長、保体副部長、赤組団長、白組団長が中心となり、創りあげた体育大会。「仲間や後輩を褒める」声かけが多く、温かい雰囲気の中で全体練習や各応援合戦の演舞練習が進められていました。当日朝から降雨もありましたが、開会式にはあがり滯りなく実施できました。白熱した学年対抗と学年リレー、練習の成果を発揮した応援合戦、各学年の代表による色別リレー、競技役員もできるだけ生徒が取り組み、その結果、閉会式での充実した生徒の顔が印象的で、3年生からは「先輩を見習って、素敵な体育大会にしたい」という声も聞かれました。優勝の方にも感謝しています。皆さんに志布志中学校生徒の「Pride」を語ります。

## 10月の主な行事

- 1日(水) 身体測定 命の講話(3年)
  - 2日(木) 文化芸術鑑賞(3年)
  - 3日(金) 生徒会立会演説会
  - 7日(火) 地区新人戦① 実力テスト①(3年)
  - 8日(水) 地区新人戦② 実力テスト②(3年)
  - 5日(水) 租税教室(3年)



- 17日(金) アルバム写真撮影（3年）  
21日(火) 英検IBA（1年）  
22日(水) 英検IBA（2年）  
23日(木) 英検IBA（3年）  
30日(木) 文化祭予行・準備  
31日(金) 文化祭（給食カットのため休校）



天外蒼後(記)  
わざれば刮目してこれを見るべし」と綴つたが、生徒は日に焼け、成長した印象を受けた。私はこの夏、出勤日の弁当作りを決意。最初は片付けまで一時間近く掛かつたが、最短で二十分ほどで仕上げられるまでに。そうてきたのは、段取りだとと思う。前日の残りやレンチンおおかず…。ただ、同じものでは飽きるため、卵焼きにはニラを入れたり、白ご飯でなく焼き込みにしてみたり、工夫すると楽しくもなる。誰かに褒められるわけではないが、些細なことでも、やり続けたことは自身の誇りになった。「したい人一人万人、始める人百人、続ける人一人」とも。一日一貢、元気な挨拶…なんでもいい。「小さいとを積み重ねることが、なんでもないところへ行くただ一つの道」米野球殿堂入りのイチロー氏(教頭)